

# 小学校教員の教育観と学校教育 DX の課題

## —小学校教員全国調査（2021）から—

○武内清（敬愛大学） ○西本裕輝（琉球大学） ○馬居政幸（静岡大学（名）） 新井郁男（上越教育大学（名）） 黄順姫（筑波大学） 腰越滋（東京学芸大学） 黒河内利臣（武蔵野大学（非）） 濱嶋幸司（函館大谷短期大学） 大島真夫（東京理科大学） 佐野秀行（大阪人間科学大学） 谷田川ルミ（芝浦工業大学） 山口泰史（帝京大学） 望月重信（明治学院大学（名））

### 1. 調査の概要

新型コロナ禍による休校や多重負担、児童一人一台の情報端末（タブレット）も配布、GIGAスクール構想、教師の多忙やバーンアウト、新卒者の教員志望者は減少といった社会的背景の中で、現職の小学校教員は、どのような教育意識や意見を持ち、どのような授業や指導を子どもたちにしているのでしょうか。小学校教員の全国調査からその実態を明らかにし、さらに学校 DX の課題を考えた。

全国の公立小学校約 2 万校からランダムに 800 校を選びだし、校長先生宛てに調査を依頼した。各校の校長先生には、多様な先生方 7 名に調査票の配布をお願いした。全体で 5600 票（7×800）配布した。返信は個人個人無記名で、郵送で返送されたものを確認した。調査期間は 2021 年 10～11 月である。763 名の有効回答があった。

調査項目は、①現代の子どもの特質、②教科書の使用頻度、使用理由、③デジタル機器、端末の使用状況、使用見込み、④英語教育について、⑤学力格差について、⑥教育改革について、⑦宗教教育について、⑧小学校教育全般に関する意見、⑨属性（性別、年齢、役職、担任の有無、学校所在地、学校規模他）である。

763 名の有効回答の内訳は以下の通り。性別は、男性が 47.6%、女性が 52.4%である。年齢 20 代 15.3%、30 代 18.5%、40 代 22.9%、50 代 39.8%、60 代 3.4%。学級担任を「している」が 57.5%である。専門科目を「担当していない」が 79.4%を占めた。役職・校務分

掌は、「校長」10.0%、「副校長・教頭」10.9%、「主幹教諭」2.5%、「教務主任」8.3%、「その他の主任」32.4%と役職者は 4 割を占める。「役職なし」が 35.5%である。

### 2. 調査結果の概要

1 7 年前と比べ、児童の「わがまま」は減少、「素直・いい子」は増加、「学びの問題」は変化なしと、教師たちは認識している。

2 1 年生担任の教科書使用率は低い。教科書を使うか使わないかは、科目の特性よりも教員個人の裁量による。

3 教員は PC タブレットの利用については慎重である。従来のような紙媒体、アナログに対する信頼が強く、急速なデジタル化に対する不信感や抵抗感が、特に学力上位の都道府県の教員に存在する。

4 「一人一台」の情報端末を、全ての子どもに、精密な制度設計なく無償配布したのは、日本の公教育史上、唯一無二の出来事である。「一人一台」の情報端末で「何ができるか」と「教育活動に必要なか」を聞き、さらに情報端末の「活用のしやすさ」を教科別に教師に聞くことにより、教育現場の戸惑と、学校教育 DX の課題を明らかにした。

5 小学校の英語教育は会話やコミュニケーションを基調に定着した現状がみられる。特に若い世代の教員が意欲的である。小学校の教員は国語教育との関わりに着目している。これまで変遷を遂げてきた日本の小学校段階の英語教育は、新たな段階に入っている。

6 小学校教員はすでに低学年から児童の

学力格差が生じていて、その延長で高学年でも学力の差が維持すると感じている。子どもの学力の差の解消のために、「勉強する習慣・達成感をつける」と「習熟度に合った指導をする」ことをあげる教師が多い。

7 社会的弱者との関わりを教師が行っている割合は、世代・役職による差があり、若手に比べ、ベテラン・管理職で多くしている。

8 学習環境の家庭間格差への対処責任の所在については、行政に責任があるとする層と、保護者に責任があるとする層に分かれる。若年層や都市中心部の住宅地や商業地域の教員には、保護者が対処すべきという認識が強い。

9 社会的弱者救済志向(教職への使命感)の変動は、Ⅰ高維持群、Ⅱ上昇群、Ⅲ低維持群、Ⅳ低下群の4群に類型化できる。Ⅰ群・Ⅱ群に分類される教師が多い。またⅡ上昇群は50～60歳のベテランで、校長・副校長職に多い。

10 多様化の取組としては「ひとり親への配慮」、次いで「障がい者への配慮」が多い。女性教員は男性教員と比べると、「多様な性」や「ひとり親家族」、「異なる文化的背景を持つ人」といった教育に取り入れている傾向が多い。

11 教育改革の内容の日頃の教育での取り入れは、クラス担任をしている教員よりも管理職が行っていると回答する傾向にある。

12 公立小学校の教員は、様々なレベル、多彩な内容・方法で地域との関わりをもっている。21.8%が「地域など学校外の資源」を「とても活用している」と答えている。

13 「(超)多忙群」のほうが「非多忙群」よりも、どの教科でも教科書の使用頻度が高い。「超多忙群」は近年の社会の動向を取り入れた内容の教育を行っている割合が高い。学校側が学校で出来ることと出来ないことを、子どもの保護者に示すことが必要である。

14 「宗教についての一般的な教養」については、否定的な見解は極めて少なく、ほとんどは肯定的であったが、取り扱う視点について記述は、わずか(23件)であった。

15 教師たちは「これからのあり方」について使命や理念を考えているというよりも、

「いまという現状」の中で改善策を求めている。教師たちの関心は「働き方改革、保護者・地域社会、個別指導・少人数指導、少人数学級(学級規模)」にある。教師たちは教育内容が多様になり過多で、ゆとりの無さを感じ、内容「精選」の必要性を感じている。教師たちは、ゆとりをもった個別指導・少人数指導に期待し、多様な子どもたちの指導に当たりたいと考えている。少人数学級や教科担任への関心は高い。教師たちは心の教育・道徳教育、体験学習、自己肯定感の育成の重要性を指摘している。

新型コロナ禍、一人一台情報端末配布の中、小学校教育のこれから及び学校DXの課題を、理論と政策と現場の実情から考えたい。

(武内)

### 3. デジタル化と沖縄の学力

#### (1) 沖縄の学力の状況

2022年7月28日、令和4年度全国学テの結果が公表され、沖縄は8年ぶりに全科目最下位となった。そして県教委は「(コロナ休校により)授業時数の確保や学習内容の定着への対応を十分に行うことが困難であった」とコメントしており、学力低下の要因をコロナ休校の日数の多さに求めている。

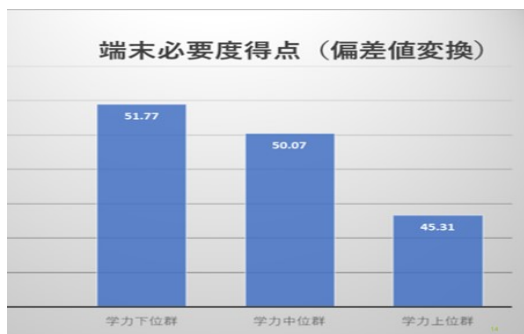
周知のように2021年4月から全国の小中学校において一人一台タブレットが支給されている。当然、コロナ休校下ではタブレットを用いたオンライン授業も行われているので、こうした学力低下には沖縄のタブレット利用の失敗という側面もあるのではないだろうか。

以上をふまえここでは2021年から本格的に始まった教育のデジタル化が沖縄の学力にどのように寄与したのか、しなかったのかについて、いくつかのデータに基づき検討したい。

#### (2) 小学校教員全国調査からわかったこと

まず、先ほどふれた全国調査からわかったことについてであるが、学力の高い都道府県の教員ほどタブレット利用に慎重であるということである。次のグラフは「端末を家に持ち帰っての使用」「端末を使用したオンライン授業」等の項目の必要の程度について、小学校教員に回答してもらった結果を得点化し、それを偏差

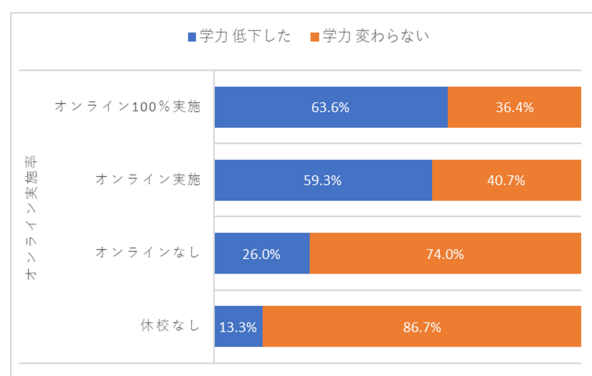
値に変換し全国学力テの順位に基づいて3分類し比較したものである(分散分析の結果1%水準で有意)。



これによると、学力下位群の得点は平均値50を超えタブレット利用について積極的と言えるが、上位群は偏差値に換算して45程度と必要性をあまり感じていないということになる。上位群の教員のこうした意識は決して無視してはならないだろう。そしてそれはこれまで積み上げてきた対面授業への信頼の表れでもあるだろう。

### (3) 沖縄におけるデジタル化の状況

もちろん沖縄県は上の分類では下位群にカテゴライズされるが、比較的タブレット利用に積極的であった沖縄県が、実際にどのような取組をしていたかについて別の調査データで確認したい。ここで用いるのは2021年12月～2022年2月に琉球大学が実施した沖縄県内全公立小中学校調査のデータである。Webにより実施し、回収率は25.3%であった。



上のグラフはカイ2乗検定によりコロナ禍前後で子どもたちの学力がどう変化したか(校長の実感)と、オンライン授業の実施状況との関係を示したものである(1%水準で有意)。

ここからわかるのはまず、休校がまったくな

かった学校の学力はあまり低下していないということである(低下率13.3%)。そしてコロナ休校はあったもののオンライン授業をまったく実施していない学校の学力もそれほど下がっていない(低下率26.0%)。むしろ低下したのはオンライン授業を実施した学校であった(低下率60%程度)。

このことから沖縄においてはタブレットを用いたオンライン授業はほとんど効果がなかったということがわかる。むしろ逆効果とも言える。実際、学力も最下位となっているので、この結果を重く受け止め、今後は過剰にタブレットに頼ることなく対面授業を重視し、できるだけ休校にもしないことが得策である。そしてそれは何も沖縄に限った対策ではないだろう。

(西本)

### 4. 「1人1台」、公立小学校の優位性と脆弱性

本発表では、「1人1台」(担任する子ども一人一人が名前を記したPCタブレットを手にする現実)に対峙する小学校教員のPC活用状況を問う全国調査の分析により、学校教育DXの課題を考察する。そのため、西本裕輝が「高い学力の都道府県の教員ほどタブレット活用に慎重」との知見を析出した選択肢(機器の機能)と問いの構造を確認しておきたい。

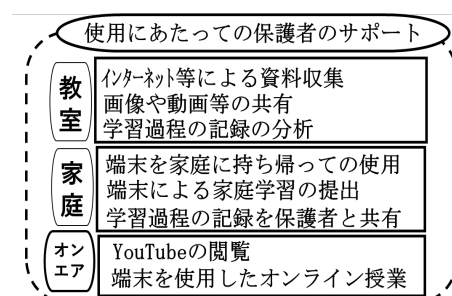


図3 「1人1台」、質問の構造図

図3がその構造図。ICT教育、GIGAスクール、令和の日本型学校教育等で提起されたPCの機能(活用方法)を9種の選択肢と4種の学習の場に整理した。そして、機種が自治体によって異なることに注目し、「できる-できない」(事実認識)と「必要」(5択評価)という2種の問いで選択肢9種の認知度と必要度を質問した。

その結果が図4。「できる(白)」を見ると、「インターネット～」と「画像動画～」は9割を超す

が、「YouTube～」、「家庭持ち帰り～」、「オンライン授業」は6割、「家庭学習～」、「学習過程記録分析」、「保護者サポート」は5割の線上、「学習記録保護者共有」は18.7%で非常に低い。

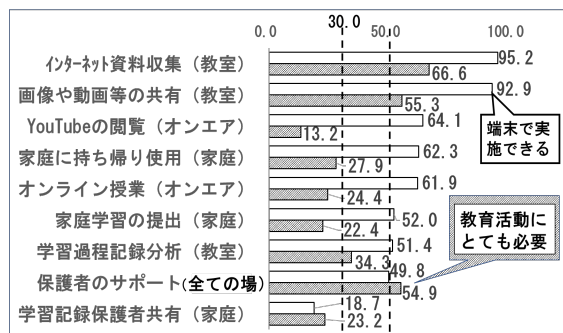


図4 「できる」と「とても必要」の選択順位別図

「とても必要(網)」はどうか。5割を超えるのは「インターネット～」「画像動画～」「保護者サポート」の3種のみ。3割も「学習過程分析」だけ。「家庭持ち帰り」、「オンライン授業」、「～保護者共有」、「家庭学習提出」は2割台と低い。

実は機種は多様だが、いずれも機器のスペックは高い。大多数が全て「できる」との回答を期待したが、選択肢間の差は大きい。さらに、「とても必要」の選択率は、「保護者サポート」を除き、「できる」率よりかなり低い。なぜか。答えは小学校の教科等14種の授業におけるPCの「活用」のしやすさを示す図5にある。

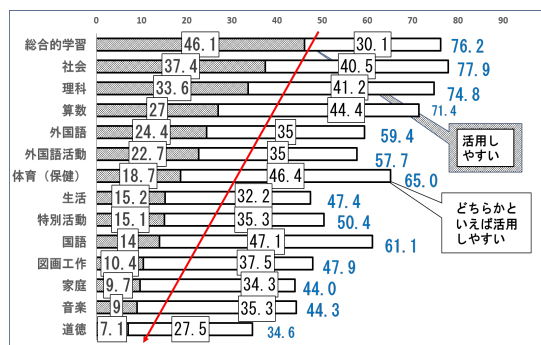


図5 教科等別「活用」の選択順位別一覧図

選択率順位で並ぶ「活用しやすい(網)」に注目する。総合的学習46.1%、社会37.4%、理科33.6%、算数27.0%、外国語24.4%が上位5位だが、国語14.0%は10位。なぜか。答えは教科書の有無と学習方法の差異だが、ここでは西本の知見との関係で、学力調査対象教科の国語と算数に焦点を絞ろう。算数は4位だが数値は27.0%と低い。国語は教科等14種の10番目の14.0%と更に低い。国語と算数は共に「1人

1台」へ対応が遅れ、教員の力量と努力の不足を示すエビデンスとみることも可能な数値だが、我々の判断は異なる。「1人1台」が教科等の特性に応じた学習ツールとしての検討がなされないままに実施されたことを示唆するエビデンスとみなしたい。理由を述べよう。

表紙に平成29年告示と記された新学習指導要領には、ICT教育の言及はあるが、「1人1台」の授業実践は想定(検討)されていない。

GIGAスクールには「1人1台」が組み込まれるが、デジタル教科書論議に見るように、現行教育課程との整合性は検討中。西本の知見は「1人1台」が学力調査の正答率上昇に寄与しないことを直截に示すエビデンスである。その一方で、現在の学力調査では、「1人1台」で獲得する資質・能力の計測困難のエビデンス、との仮説にも繋がる。その結果、日本の公立小学校の先生方が蓄積された授業実践知は、「1人1台」による新たな“知・情・意”の育成を妨げる壁(脆弱性)に転換する。この仮説から、学校教育DXの課題となる4種の仕組み(法制度が統制する教育システム)を開示しておく。

- 1) 担任が全教科等を教える「学級担任制」
- 2) 知識獲得より学習の場の共有を優先する「履修主義」
- 3) 居住地≒「学区制」と学年≒「年齢主義」による就学条件の固定≒「非選択制」
- 4) 学習指導要領、検定教科書、無償配布による教育課程の統一性

上記4種こそ世界に誇る日本の小学校教育の“優位性”であると同時に、「1人1台」によって顕在化した“脆弱性”との仮説に基づき考察した学校教育DXの課題と可能性については、新たなデータとともに発表時に提示する。

その前提として、調査、研究、実践化の協働論議のテーマを3種提起しておきたい。

- i 実証データevidenceの構築 (タクティクス1)
- ii 学校教育のリアル(実践知)の言語・映像化 (タクティクス2)
- iii Diversity & Inclusionの視座の日常化 (ストラテジー)

(馬居)

(本発表は、『小学校教員の教育観とこれから校教育』(中央教育研究所調査報告N098, 2022.9 <https://chu-ken.jp/kanko.html>)に基づくものである。)